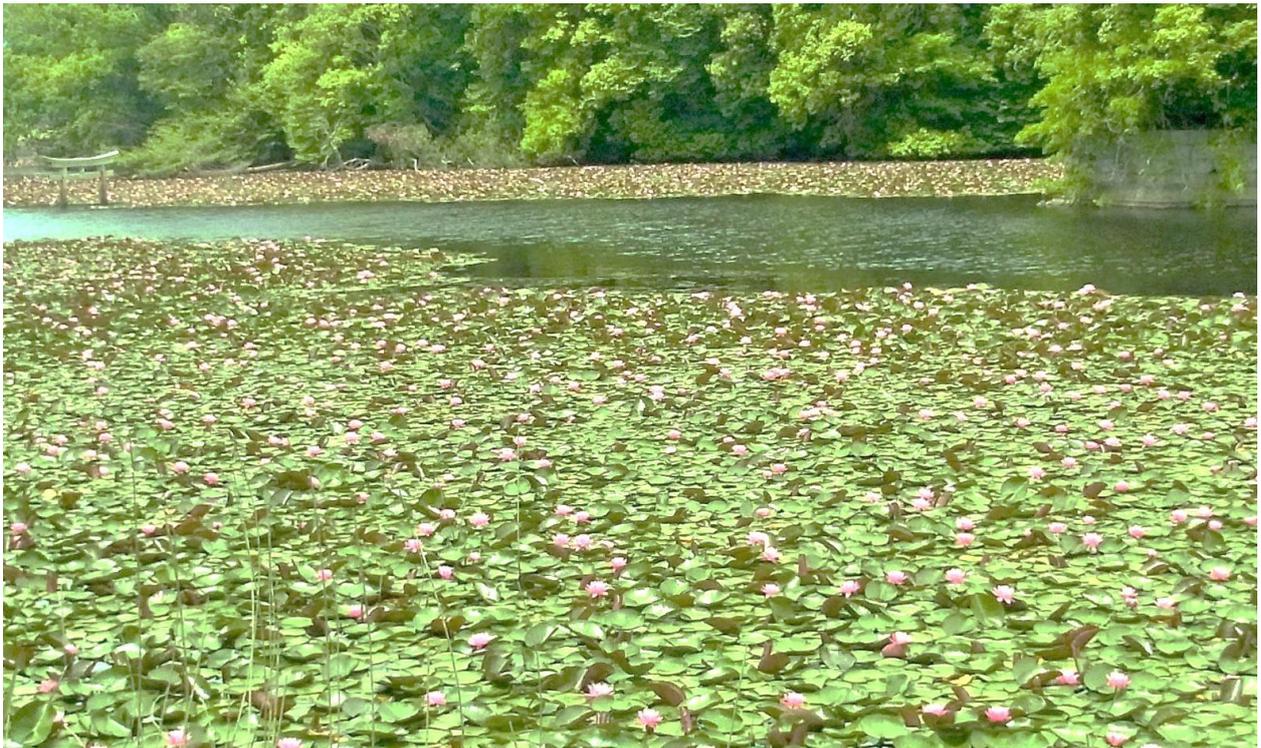


滋賀県レイカディア大学 同窓会
甲賀・湖南支部だより 第31号

滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 本田 秀信

目 次

支部長就任あいさつ	(36期 園芸 本田 秀信)	P 2
支部長退任あいさつ	(34期 園芸 浦田 好達)	P 3
本部表彰 (米寿) 受賞者	P 3
表彰受賞者・寄稿文 (奥嶋)	(20期 文芸 奥嶋 寛)	P 4
表彰受賞者・寄稿文 (杉中)	(25期 園芸 杉中 覺)	P 5
甲賀・湖南支部理事会報告	(33期 陶芸 林 弘實)	P 6
編集後記	(34期 健レク 木下 美恵子)	P 7



令和3年6月 甲賀市 大池寺の睡蓮

支部長就任あいさつ

36期 園芸 本田 秀信

昨年度 副支部長でお世話になり、本年度支部長の大役を務めることになりました。 よろしくお願ひいたします。

相変わらず新型コロナウイルスがまん延していますが、救いの手段としてワクチン接種が始まりました。我々高齢者は7月末を目途に終了予定となっています。

同窓会活動も昨年は、ほとんどできず残念でしたが、今年は、秋ごろから一般会員参加の行事ができることを願っています。

一般会員様への同窓会活動への参加PRに力をいれたいと思っていますので、是非参加をお願いいたします。

小生は、みなくち子どもの森で「ささゆりサポート隊」、甲賀学園でゴーヤカーテン、びわこ地球市民の森で植林の整備、えにしのでで芦浦観音寺での竹林整備のボランティア活動に参加しています。支部の同好会活動（グラウンドゴルフ、里山ハイキング、青春18きっぷ）にも参加して元気に過ごしています。皆様も同好会に参加を宜しくお願ひ致します。

さて、余談ですが、今回新型コロナウイルスで世の中パニックになっていますがパンデミック（世界的な大流行）は、過去にペスト、コレラ、天然痘、ポリオ（小児麻痺）などがあり、数千万人の死者がでています。現在でも、HIV、SARS、インフルエンザ、麻疹（はしか）、おたふく風邪等がありますが、ワクチンや対処薬がありマスコミにあまり取り上げられていません。人類がこの世にあらわれた時からウイルスと共存していたと言われています。そのため乳幼児の予防接種として各種のワクチン接種が行われている状況です。

我々高齢者は、健康に気を付けて体力維持に務めてまいりましょう。



支部長退任あいさつ

34期 園芸 浦田 好造

令和2年度は、新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、令和3年度に入ってもその猛威は終息せず、予断を許さない状況が続いています。

この為、令和2年度は、レイカディア大学も半年間の休学となり、同窓会活動も本部、支部共にほとんどの活動が中止となり、苦しい運営を強いられました。当支部でも20名の理事中、7名の新しい理事を迎え、活発な意見交換を行いましたが、残念ながら、本部同様満足な結果は得られませんでした。

その中でも、令和3年度は、卒業生11名中8名の方々に入会していただき、懸案の会員数減少に歯止めがかかり、今後の活動に期待がもてる状況が生まれました。

私事ですが、体調不良を自覚する年齢にさしかかった2年前、強い要請により、副支部長就任を引き受けましたが、支部長退任までの2年間で務まるかと不安でした。幸いにも皆様の温かい支援の下、無事に任期を全うできたことに厚くお礼申し上げます。

最後に会員の皆様のご健勝と同窓会活動の活発化を祈念して退任のあいさつと致します。



本部表彰（米寿）受賞者

本年度の甲賀・湖南地区より、本部から下記の方々表彰されました。

5名の皆様 ほんとうにおめでとうございます。



東 公一 様

27期 陶芸

長生きの秘訣は、良く食べて、良く眠り若い人たちと交流することです。



岸 嘉行 様

21期 生活



杉中 覺 様

25期 園芸
別紙・寄稿文



奥嶋 寛 様

20期 文芸
別紙・寄稿文

中村 ゆり 様

18期 スポーツ
(写真は辞退されました)



米寿に寄稿

20期 文芸学科 奥嶋 寛

光陰矢の如しと言われる様に早や米寿を迎えました。本会からも米寿を祝福頂きまして感謝に堪えません。

私も体操やウォーキングを日課にして、草刈りや畑仕事にも励んでおります。

書道学習は三十数年継続した趣味で、向上心は絶えません。又レイ大同窓会のグラウンドゴルフや里山ハイキング同好会でも活動しています。



地域の環境整備も老人家族ですので私の出番です。若い時から兼業で身をすり減らして働いた体ですが、健やかに米寿を迎えられたことは皆様のお蔭と感謝して居ります。

私は昭和九年に生を受け、小学校が国民学校に改称された昭和十六年四月に一年生入学、その十二月に太平洋戦争が開戦し、五年生の八月に終戦となりました。又学制改革に依り高等小が新制中学になり、新制中学初代の一年生です。この様に画期的な変化の世代で戦中戦後の実状をまざまざと見せつけられました。軍国主義の日本は、物資不足で我慢の貧困生活、発言の自由は許されず、学校も正に予備兵の如く軍事教練がされ、社会の食糧不足の影響もあって、学校の運動場の一部を生徒の手で掘り起こし甘藷栽培、学校農園での作業と、学習に熱中出来ない状態でした。新聞やラジオからのニュースは日本軍隊の戦勝だけの伝え、地震や気象災害も極めて軽微と信頼性のない嘘の報道で、全てが検閲制度で、国民に真実を伝えない方針が取られていたのです。その様な政治にも反省心はなく、卑劣な世相で教育現場もその様な流れでしたが、戦争中の国民は一致団結の精神で全て従順に受け入れ、懸命の努力をして来たのでした。戦況が悪化して本土空襲は度重なり大都会は焼け野原状態になっても軍部は一億国民玉砕の精神を鼓舞していたのでした。

昭和廿年八月、天皇陛下の詔勅に依って敗戦が宣言され、終戦に向かいました。敗戦という現実を経験していない者は、終戦を素直に嬉こんだ様に思います。

戦後の教育は、神国日本を象徴した教育は一変して、民主主義と今まで耳にした事のない言葉に引きつけられました。続いて新憲法が制定されました。民主、人権尊重、平等と絶対平和がうたわれた新憲法にどれだけ大きな感動を抱いた事か、そして道徳を重んずる日本古来の精神で世界の劣等国から再生するシンボルを得た様で、生きる目的を自覚し、湧き立つ様な思いで活動に励んだ青春時代を懐かしく思います。当時高校在学中も、青年団活動でも、日々の生活の中でも、この素晴らしさを謳歌しました。

人生の終着にさしかかり、レイカディア大学は私達の人生を、老後を豊かにして下さった事に気付いています。私は同窓会の諸活動に参加して、後輩の方々のお世話になって居りますが、付き合う方々の穏やかで親切な御人格に元気を頂いています。

レイ大の卒業当時の紀要に「老後の生き方を考察する」と題して提言しました。今私は自分の言葉を実践しながら日々を送っています。在学中、特に思い出になるのは、講義の中で宝くじ事業団からの助成事業を拝聴し、早速地元働きかけグラウンドの施設を兼ねて公衆便所を設置出来た事、又卒業間際に滋賀と中国長沙との親善交流十五周年の使節団へレイ大から募集があり、当時学校での部活の先輩だった福島功三様と応募して参加しました。北京、西安、長沙(二泊)、上海を巡り、長沙では、ホームステイや日本語大学との交流訪問が企画されていて、滅多に体験出来ない素晴らしい感動の有意義な訪問が出来ました。チャンスを頂いたレイ大に感謝です。



米寿に寄稿

25期 園芸学科 杉中 覺



この度は、滋賀県レイカディア大学同窓会より、米寿のお祝いとして記念品をいただき、併せてご丁重なるご祝詞を受け賜わり、誠に有難く謹んでお礼申し上げます。

私は珍しく昭和9年9月9日生まれで、その13日後には大変恐怖な室戸台風が地域に接近し、甚大な被害を被った内容を両親から聞いていて驚いていた次第です。

長年に亘り沢山の思い出を振り返るなか、昭和16年尋常高等小学校から国民学校に改称れた、その一年生として入学し、勉強や運動などに毎日楽しい学校生活も、12月8日大東亜戦争の知らせに、恐怖の続く毎日でした。

三年生の秋頃、米軍機は1万メートル超の上空を飛行するようになり、10機20機編隊でだんだんと低空飛行を続け、またラジオニュースでは、大本営発表、空襲警報発令が鳴り響くなかで、十分な勉強も出来なかった状況でした。

学校の外壁の白壁は黒壁に塗替え、外窓硝子は縦横斜め十文字にテープで貼り付けて室内の安全性を保ち、シャツ等白い物は蓬色に染めつけ、人体を目立たなくしていた状況でした。

学校の運動場一面に、地域では公の空き地に、増産畑としてさつま芋の蔓を植栽し、水やりなど芋の栽培管理に努め、食糧難の一部を補っていました。

一農家でありながらも、米は殆ど供出し、家での主食は、米+麦+木の若葉で、日々の生活を送っていました。

国鉄信楽線のレール、寺院の梵鐘、火災等の警鐘など金属類の殆どは没収され、学生服の金ボタンも硝子ボタンと交換されました。

戦争激動のなか、耐えきれない状況も続いていたが、昭和20年8月15日悲しみ溢れた終結となり、その後は平和な国にだんだんと成り立つ様相を見受けられました。

翌年の夏休みには、友人二人で神戸のおじさん宅へ1週間の楽しい旅をし、列車内の窓から景色を、滋賀、京都は平然としてみていたところ、吹田駅に停車した瞬間、戦争の傷跡、その恐ろしさが如何にも吃驚しました。

神戸では、進駐軍が沢山集まり、ジープに乗って駆け巡る様子なり、名称、観光地、繁華街など見学し、海岸の散歩でも楽しい旅の訪れでした。

一農家に生まれ育ち、約1町歩に及ぶ水田の作業に従事してきましたが、年齢的に無理な状態となり、比較的に興味のある楽しい行動をしてきました。登山では、富士山を初め約30か所超の山々を、急峻な坂道を登ってその疲れが楽しみ、ウオークも琵琶湖一周や東海道五十三次など、歩いての楽しみを最大にレイ大同级生や地域の人々と共に楽しく歩んでまいりました。しかしながら現在は、足の衰えにより、杖の必要な年を迎えて毎日の生活をしている状況です。

昭和、平成時代へと歩んできた思い出に、現在の生活は、新型コロナ禍の影響で、最近1億4900万人超の感染者で、世界的にも深刻な問題となっており、日本国に於いてもテレビや新聞等で毎日のように対策を報じられています。まだまだ感染症の収束は難しいとは思いますが、一日も早くその対策を確立できることを待ち望んでいます。

そうして、レイカディア大学同窓会の皆様方との更なる交流を、深められる日を期待しています。

甲賀・湖南支部理事会報告

副支部長 33期 陶芸 林 弘實

1. 支部長挨拶 本田 秀信

新型コロナウイルスに変異株が多くなり、大阪、東京等で感染拡大が続いております。ワクチン接種が始まりましたが、まだ時間がかかりそうです。このような状況により今年度は、前半自粛で、後半の活動に力を入れることにしたいと思います。皆様のご意見、ご協力をお願いいたします。

2. 事業別担当者（敬称略） ○：グループリーダー

支部長	副支部長兼会計	副支部長	会計監査	会計監査	H P 担当理事
本田 秀信	松井 和子	林 弘實	森井 幸三	山崎 美智代	木下 美恵子

体育部	○ 吉治孝和、木村栄子、畑中良一、奥本静子
文化広報部	○ 林弘實、木下美恵子、高山雅史
ボランティア活動部	○ 竹内重行、渡辺新司、森井久次
作品展・新人会員歓迎部	○ 市井眞一、南部芳廣、藤橋克己、村上多津美、米田幸子
研修旅行部	○ 大平善清、山田尚治、堀保蔵、寺崎勉

グラウンドゴルフ同好会	田村 光男	里山ハイキング同好会	高山 雅史
青春18きっぷの旅同好会	浦田 好造		

各グループごとに打ち合わせを行い、次回理事会（7月8日）で報告します。

3. 報告、連絡事項

- ・6月の支部グラウンドゴルフ大会、及びボランティア活動、同好会活動などは春の開催は自粛し、秋以降になりました。
- ・今年度・米寿の方5名は、5月26日の本部総会で表彰予定でしたが、コロナ対応のため本部での表彰は中止になりました。理事を通じて本人へ祝詞等を届けました。
- ・第43期・学生募集案内については、支部ではパンフレットを全戸回覧することにしました。 湖南市・約1600部、甲賀市・約3100部を市に委託しました。
- ・今年度・趣味の作品展、新入生歓迎部、ボランティア活動、一日研修旅行は、秋以降に予定しています。

編集後記

支部だより第31号をお届けします。

米寿を迎えられた2名の方から寄稿文をお寄せいただきました。戦中戦後の激動の時代を経験され、現在は、健やかな毎日をお過ごしの様子。

老いても楽しみを見つけ、向上心を絶やさないことが、元気の源ですね。

毎日、「新型コロナウイルス」「変異株」「感染対策」・・・等コロナ関連の言葉を目にし耳にも聞こえてきます。このような時代を経験するとは思っていませんでした。感染拡大を予防するため、いろいろなことに制限がかかり、マスクの着用、手指の消毒、検温は当然のように暮らしに溶け込んでいます。マスクは、顔のしわ隠しにもなりますが、暑い日にはしんどいです。

ワクチン接種は、もうお済でしょうか？

ワクチン接種によって、新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かってくれるといいですね。感染リスクが減って、世の中が元気になってほしいです。

次号では、支部活動の様子をたくさん報告できればと思っています。

(文化広報部 34期 健レク 木下 美恵子)



当尾の石仏「わらい仏」